

回 答

団体名（ ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会 ）

（要望項目）

6. 大阪府としての謝罪と名誉回復の取り組みについて

①知事にハンセン病療養所に出向き、入所者と面談し実態を知っていただくとともに、納骨堂にお参りし、謝罪と哀悼の意を表してください。また、外島保養院の跡地で開催される追悼式典や「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」の式典にも出席してください。

（回答）

- 知事のハンセン病療養所訪問については、これまで平成13年に国立療養所邑久光明園を訪問し、亡くなった方への追悼や入所者への謝罪など、それまでの国や自治体による誤ったハンセン病隔離施策についての謝罪の意を表したところです。
- 知事の療養所訪問や追悼式典等への出席については、必ずしも確約できるものではありませんが、その都度、関係課と相談してまいります。

（回答部局課名）

健康医療部 保健医療室 地域保健課

回 答

団体名（ ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会 ）

（要望項目）

6. 大阪府としての謝罪と名誉回復の取り組みについて
②いちょうの会と知事との面談を実現してください。

（回答）

- 知事と退所者の方々との面談については、これまで平成14年、23年、24年にお会いし、これまでのご苦勞をお聞きするとともに、国及び自治体の施策が誤っていたことについて、謝罪を行いました。
- なお、知事と退所者の面談については、必ずしも確約できるものではありませんが、その都度、関係課と相談してまいります。

（回答部局課名）

健康医療部 保健医療室 地域保健課

回 答

団体名 (ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会)

(要望項目)

9 差別と偏見解消のための啓発活動の充実

- ② 大阪府教育庁としては、2023年3月の『ハンセン病に係る偏見差別の解消のための施策検討会 報告書』と2024年と2025年3月の『ハンセン病問題に係る住民意識調査』結果、さらに、令和7(2025)年6月に23年ぶりに改定された「人権教育・啓発に関する基本計画(第二次)」で「ハンセン病患者・元患者及びその家族」が独立の項目として整理されたことを踏まえ、どのように今後のハンセン病問題学習を学校教育現場や社会教育の現場で実施しようとしているのかを明らかにしてください。大阪府教育センター主催の「出会いから学ぶ人権学習」では毎年、いちょうの会会員が講師を務めていますが、学校教育現場でいちょうの会会員が語り部をする取り組みはほとんどありません。教師と子どもたちのハンセン病問題の研修計画を示してください。特に、中学校に配布されている「ハンセン病の向こう側」の活用状況を調査し、報告してください。2025年12月26日付けで新たな通知が文部科学省、厚生労働省、法務省から出され、ハンセン病問題に関する教育を更に推進するよう求められていますが、どのように徹底されていますか、教えてください。

(回答)

- 府教育庁としては、「人権教育の指導方法等の在り方について(第三次とりまとめ)」及び「人権教育基本方針」「人権教育推進プラン」に基づき、様々な人権問題の解決をめざした教育を総合的に推進しているところです。
- ハンセン病問題については、「ハンセン病に係る偏見差別の解消のための施策検討会 報告書」において、ハンセン病に係る偏見差別は国の隔離政策によって作出助長され、今も解消されておらず病歴者・家族の方等を苦しめていると示されています。
- また、「ハンセン病問題に係る全国的な意識調査」の結果から、ハンセン病やハンセン病問題に関する知識は社会に十分には浸透しておらず、ハンセン病に係る偏見差別は現存し、依然として深刻な状況にあると示されています。
- そうした中、「人権教育・啓発に関する基本計画(第二次)」では、「ハンセン病患者・元患者及びその家族」が独立の項目として整理されたところです。
- これらの動向も踏まえ、教育現場でハンセン病問題学習を進めていく必要があると認識しています。

- 具体的には、教育庁職員や府立学校校長・教頭等を対象とした人権研修、市町村人権教育主管課長会などを通じて、ハンセン病問題について周知し、各現場におけるハンセン病問題学習の充実を図ってまいります。

(回答部局課名)

教育庁 人権教育企画課

回 答

団体名 (ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会)

(要望項目)

9 差別と偏見解消のための啓発活動の充実

② 大阪府教育庁としては、2023年3月の『ハンセン病に係る偏見差別の解消のための施策検討会 報告書』と2024年と2025年3月の『ハンセン病問題に係る住民意識調査』結果、さらに、令和7(2025)年6月に23年ぶりに改定された「人権教育・啓発に関する基本計画(第二次)」で「ハンセン病患者・元患者及びその家族」が独立の項目として整理されたことを踏まえ、どのように今後のハンセン病問題学習を学校教育現場や社会教育の現場で実施しようとしているのかを明らかにしてください。大阪府教育センター主催の「出会いから学ぶ人権学習」では毎年、いちょうの会会員が講師を務めています。学校教育現場でいちょうの会会員が語り部をする取り組みはほとんどありません。教師と子どもたちのハンセン病問題の研修計画を示してください。特に、中学校に配布されている「ハンセン病の向こう側」の活用状況を調査し、報告してください。2025年12月26日付けで新たな通知が文部科学省、厚生労働省、法務省から出され、ハンセン病問題に関する教育を更に推進するよう求められています。どのように徹底されていますか、教えてください。

(回答)

- ハンセン病問題は人権教育の一環として扱われる課題であり、各学校が生徒の実態や発達段階に応じて主体的に取り組むことが重要であると考えています。
- 府教育センターにおいては、ハンセン病をテーマとした研修を10年にわたって実施しており、管理職をはじめ、小中及び府立学校の教職員や市町村教育委員会の指導主事等が受講しております。
- また、人権教育リーフレット「ハンセン病問題に学ぶ」を令和4年度に作成し、府立学校及び市町村教育委員会に配布するとともに、府教育センターホームページにも掲載しています。引き続き、このリーフレットの周知に努めるとともに、課題別研修においてハンセン病をテーマに取り上げ、実施していく予定です。
- さらに、府教育センターにおいて実施しているパネル展示についても、ハンセン病問題に関する啓発活動として、情報発信の方法を工夫し、継続的に行う予定です。
- 府立学校においては、令和8年1月に「ハンセン病問題に関する教育の更

なる推進について」を通知し、各校で活用するよう依頼しています。また、「ハンセン病問題講演会」及び、「第25回ハンセン病問題に関するシンポジウム（人権フォーラム2026）」について、教育庁より教職員に対し、直接案内しています。

- 今後も、各啓発資料等の教材・活用事例について情報提供を行うとともに、各校がハンセン病問題に関する教育を実施できるよう支援していきます。

（回答部局課名）

教育庁 教育振興室 高等学校課

回 答

団体名 (ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会)

(要望項目)

9 差別と偏見解消のための啓発活動の充実

- ② 大阪府教育庁としては、2023年3月の『ハンセン病に係る偏見差別の解消のための施策検討会 報告書』と2024年と2025年3月の『ハンセン病問題に係る住民意識調査』結果、さらに、令和7(2025)年6月に23年ぶりに改定された「人権教育・啓発に関する基本計画(第二次)」で「ハンセン病患者・元患者及びその家族」が独立の項目として整理されたことを踏まえ、どのように今後のハンセン病問題学習を学校教育現場や社会教育の現場で実施しようとしているのかを明らかにしてください。大阪府教育センター主催の「出会いから学ぶ人権学習」では毎年、いちょうの会会員が講師を務めています。学校教育現場でいちょうの会会員が語り部をする取り組みはほとんどありません。教師と子どもたちのハンセン病問題の研修計画を示してください。特に、中学校に配布されている「ハンセン病の向こう側」の活用状況を調査し、報告してください。2025年12月26日付けで新たな通知が文部科学省、厚生労働省、法務省から出され、ハンセン病問題に関する教育を更に推進するよう求められています。どのように徹底されていますか、教えてください。

(回答)

- 標記報告書において「これからの人権教育・啓発は、〈いま・ここ〉、自分が生きている場で、目の前に現れた差別を許せないとしてこれを是正するために行動する人間を、1人でも多く育てることの重要性を認識すべきである」(P.35)と示されていることや、令和7年に閣議決定された「人権教育・啓発に関する基本計画(第二次)」において、「ハンセン病患者・元患者及びその家族」が独立の項目として整理されたことを踏まえ、各学校において、自分たちに関わる問題としてハンセン病問題を受け止め、差別の解消に向けて行動しようとする姿勢の育成につながるよう取り組んでいくことが大切であると考えております。府教育庁としましては、令和5年度には人権教育フォーラムにおいて、ハンセン病問題をテーマに講演を実施したところです。
- 中学校社会科(公民的分野)の教科用図書(教科書)において、ハンセン病問題に関する記載があり、各学校において学習がなされているものと認識しています。また、令和8年度は人権教育研究推進事業における研究指定校においても、「ハンセン病患者・元患者及びその家族」について取り組む予定であることから、市町村教育委員会と連携して学校を支援するとともに、その実践事例を広く周知する等、ハンセン病問題に関する学習を進めてまいります。

- 厚生労働省が全国の中学校に直接配付している資料については、毎年、市町村教育委員会に対し、活用等にかかる対応を依頼しております。
同資料について、すべての中学校で生徒に配付し、令和7年度における、授業の中で直接生徒に配付して活用した率は18.2%、教職員が校内研修や教材研究を行う際に、参考資料として活用した率は92.6%となっております。
- なお、府教育庁では、平成23年、平成28年に各小中学校へ配付した「人権教育教材集・資料」(CD)の中に、中学生用としてハンセン病に関する教材を収めており、令和6年度は285校中37校で活用されました。
- 令和7年12月文部科学省、厚生労働省、法務省から出された「ハンセン病問題に関する教育の更なる推進について」、令和8年1月5日付け教小中第3145号にて市町村教育委員会あて依頼したところです。引き続き、ハンセン病問題に関する学習の推進に向け、人権教育担当指導主事連絡会等で働きかけてまいります。

(回答部局課名)

教育庁 市町村教育室 小中学校課

回 答

団体名 (ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会)

(要望項目)

9 差別と偏見解消のための啓発活動の充実

- ② 大阪府教育庁としては、2023年3月の『ハンセン病に係る偏見差別の解消のための施策検討会 報告書』と2024年と2025年3月の『ハンセン病問題に係る住民意識調査』結果、さらに、令和7(2025)年6月に23年ぶりに改定された「人権教育・啓発に関する基本計画(第二次)」で「ハンセン病患者・元患者及びその家族」が独立の項目として整理されたことを踏まえ、どのように今後のハンセン病問題学習を学校教育現場や社会教育の現場で実施しようとされているのかを明らかにしてください。大阪府教育センター主催の「出会いから学ぶ人権学習」では毎年、いちょうの会会員が講師を務めています。学校教育現場でいちょうの会会員が語り部をする取り組みはほとんどありません。教師と子どもたちのハンセン病問題の研修計画を示してください。特に、中学校に配布されている「ハンセン病の向こう側」の活用状況を調査し、報告してください。2025年12月26日付けで新たな通知が文部科学省、厚生労働省、法務省から出され、ハンセン病問題に関する教育を更に推進するよう求められています。どのように徹底されていますか、教えてください。

(回答)

- 社会教育の観点では、これまで大阪府立中央図書館内にある大阪府視聴覚ライブラリーにおいて、ハンセン病問題に関する映像資料の貸出を行ってきました。令和6年度には、DVD『外島保養院から邑久光明園へ 私たちは忘れない伝えたい』(令和5年制作)を追加しました。他にもハンセン病問題に関する映像資料が計12点あり、府内の団体(学校、各種施設、企業、グループなど)に対して貸出を行っています。大阪府視聴覚ライブラリーについては、市町村社会教育主管部課長会議にて、周知しています。
- 令和8年度は、社会教育や生涯学習の推進に携わる方々を対象とした人権教育セミナーや人権教育地区別セミナー等において、改定後の「人権教育・啓発に関する基本計画(第二次)」の概要を配付し、説明するなど、ハンセン病問題について周知してまいります。また、視聴覚ライブラリーに収蔵している、ハンセン病問題を含む人権問題に関する映像資料についても、貸出の周知に努めてまいります。

(回答部局課名)

教育庁 市町村教育室 地域教育振興課

回 答

団体名（ ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会 ）

（要望項目）

9. 差別と偏見解消のための啓発活動の充実

③歴史資料の保存・活用

(2)「白鳥寮」「柴島健康相談所」の跡地に説明板を大阪市と共同で設置し、「らい予防法」の下、どのような役割を果たしてきたのかがわかるようにしてください。

（回答）

- 「白鳥寮」は、ハンセン病に感染していない児童が、療養所内で義務教育を終了し社会に出た時、身許が判明する、あるいは社会生活に適応できないおそれがあった児童を後援するために設置した養護施設であり、「柴島健康相談所」は、一時帰省者の宿泊やその家族の面談の場所、或いは、在宅ハンセン病患者の相談等が気兼ねなく行える場所として使用されていた施設であり、両施設がハンセン病問題を解決するため、社会的に果たしてきた役割は、大きかったものと認識しています。
- 説明板の設置は、対応困難ですが、ご要望を踏まえ、令和7年度に大阪府のホームページサイト「ハンセン病問題を理解するために（ハンセン病回復者の被害と名誉の回復を目指して）」に「児童保育所「白鳥寮」及び「柴島健康相談所」について掲載しました。

（回答部局課名）

健康医療部 保健医療室 地域保健課

回 答

団体名（ ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会 ）

（要望項目）

9. 差別と偏見解消のための啓発活動の充実

③歴史資料の保存・活用

(4)大阪府に保管している歴史的資料及びそれを電子データ化したものについて、一部は大阪府ホームページで公開されていますが、その後活用方策を検討されたかどうかを明らかにしてください。今後も関連資料の取り扱いについては、当事者であるいちょうの会と協議の上すすめてください。

「優生保護法」は地域で暮らすハンセン病患者の配偶者も対象でした。患者票などの諸資料を調べ、「優生保護法」下大阪府が実施してきた断種、墮胎実施の実態を明らかにしてください。

（回答）

- 府が有するハンセン病に関する歴史的資料を公開することは、府民が、ハンセン病の歴史的背景を理解し、ハンセン病回復者やその家族に対する偏見や差別の解消につながるものと認識しています。資料の活用方策の新たな検討事項はありませんが、今後とも一部資料をホームページにおいて公開してまいります。
- ご要望の関連資料の取扱いにつきましては、関係者の意見を踏まえることはもとより、個人情報保護の観点にも最大限配慮する必要があることから、慎重に進めてまいりたいと考えています。
- なお、大阪府発行の衛生年報では、昭和 23 年から平成 8 年（昭和 23、27、28 年は資料なし）までに優生手術を受けられたと公表している件数が 1,237 件であり、このうち旧優生保護法第 3 条に基づき「らい」を理由に優生手術を受けられた方が 48 件です。

（回答部局課名）

健康医療部 保健医療室 地域保健課

回 答

団体名（ ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会 ）

（要望項目）

10.地域で暮らすハンセン病回復者と家族への支援について

①医療について

(2)大阪府内の医療機関、また、大阪府医師会、大阪府病院協会、大阪府保険医協会等に呼びかけ、ハンセン病問題研修を実施してください。

（回答）

○ ハンセン病回復者の方が地域で安心して医療を受けるためには、ハンセン病を診察できる医師を増やすことが重要と認識しています。

○ 従来から実施しておりました「ハンセン病医学夏期大学講座」への職員（医療職）派遣及び本府主催の「医療従事者研修派遣事業」については、令和7年度も「ハンセン病医学夏期大学講座」に職員（保健師）が参加しました。今後も継続して実施できるよう、関係機関と相談しながら、実施について検討してまいります。

（回答部局課名）

健康医療部 保健医療室 地域保健課

回 答

団体名（ ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会 ）

（要望項目）

10.地域で暮らすハンセン病回復者と家族への支援について

②介護について

(2)要介護度の認定に際し、ハンセン病後遺症である「末梢神経麻痺」について生活のしづらさ、外傷、火傷予防の必要性を理解し、調査項目に反映されるよう、国に要望してください。外傷、火傷、足底穿孔症治療のための訪問看護導入やフットケアが速やかに導入できるよう国に要望してください。

また、ハンセン病問題についての研修を実施し、理解を深める様にさせていただきたい。ハンセン病後遺症については、特記事項にどのように書けばいいか、研修をしてください。さらに、主治医意見書を書くにあたっての手引きを沖縄県では作成されていますが、大阪府としても作成し、関係機関に配布していただきたい。

（回答）

○要介護認定は、申請者の介護の必要性やその程度等について判定するため、全国一律の基準に基づいて、市町村が実施するものです。介護認定審査会においては、認定調査の基本調査項目では反映しきれない心身の状態や介護の手間について、調査票の特記事項や主治医意見書により申請者一人ひとりの状況を的確に把握し、適切な審査判定が行われることが重要であると認識しております。

○「末梢神経麻痺」による知覚障害に伴う症状により必要となる介助及びケアについては、認定調査時における調査票の特記事項や主治医意見書の記載内容を踏まえ、認定審査会において適正な判断を行うことが可能であると考えております。

○大阪府におきましては、要介護認定の適正な判定に資するため、認定調査員、認定審査会委員及び主治医に対し、障がいや疾患の特性等によって生じる申請者固有の状況や介護の手間を的確に捉えることの重要性について、研修の充実を図る等、必要な対応を行っているところです。

○主治医意見書については、生活機能低下の直接の原因となっている傷病または特定疾病の経過や介護上留意すべき事項について、介護の手間がより分かりやすく認定審査会に伝わるよう、引き続き、研修を通じて対応してまいります。

（回答部局課名）

福祉部 高齢介護室 介護支援課